

教育課程表

インテリア・空間デザイン科

区 分		科 目		単 位 数			
				1 年 次	2 年 次	3 年 次	
一 般 科 目	必修科目	1	コミュニケーション活動Ⅰ	1			
		2	コミュニケーション活動Ⅱ		1		
		3	コミュニケーション活動Ⅲ			1	
専 門 科 目	必修科目	4	建築設計製図Ⅰ	2			
		5	建築設計製図Ⅱ		2		
		6	建築設計製図Ⅲ			2	
		7	建築計画Ⅰ		2		
		8	建築計画Ⅱ			2	
		9	建築環境工学Ⅰ	4			
		10	建築環境工学Ⅱ		1		
		11	建築環境工学Ⅲ			1	
		12	建築設備		2		
		13	構造力学		2		
		14	建築一般構造Ⅰ	2			
		15	建築一般構造Ⅱ		2		
		16	建築材料	2			
		17	建築生産			1	
		18	建築法規		2		
		19	インテリアコーディネートⅠ	4			
		20	インテリアコーディネートⅡ		4		
		21	家具デザイン	1			
	22	パース技法Ⅰ	2				
	23	パース技法Ⅱ		1			
	24	デザインCADⅠ	2				
	25	デザインCADⅡ		2			
	26	プランニング技法		1			
	27	照明設計Ⅰ		1			
	28	照明設計Ⅱ			1		
	29	インテリアモデル		1			
	30	インテリアデザイン		2			
	31	店舗デザイン概論		1			
	32	店舗設計			2		
	33	外部空間デザイン			2		
	選 択 科 目	選択科目	34	空間デザイン基礎	2		
			35	巨匠デザイン学	1		
			36	色彩学	2		
37			デザインアプリケーションⅠ	4			
38			デザインアプリケーションⅡ		1		
39			デジタルアプリケーション			1	
40			デッサン	2			
41			平面構成	2			
42			空間コーディネート実践		1		
43			エクステリアプランニング		1		
44			ポートフォリオ制作Ⅰ		1		
45			ポートフォリオ制作Ⅱ			1	
46			マーケティングⅠ		1		
47			マーケティングⅡ			1	
48			ライフスタイル研究			1	
特 別 科 目	必修科目	49	キャリアプランⅠ	2			
		50	キャリアプランⅡ		2		
		51	卒業研究			12	
	選択科目	52	産学連携プロジェクトⅠ	1			
		53	産学連携プロジェクトⅡ		2		
		54	産学連携プロジェクトⅢ			2	
		共通選択科目		4			

注) 共通選択科目について、4単位以上の単位を取得しなければならない

注) 共通選択科目教育課程は別紙参照

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I		演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	1	岩崎 京子・萩原 一浩
履修要件					
・選択科目であるが、必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
様々な活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でのコミュニケーションを図る。					
授業の概要					
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。デザインを学ぶ学生の基本姿勢として、自分の足で情報を収集し、得た情報を分析し自分自身のアイデアに反映する等のデザイン訓練を行う。静岡県内に限らず、各地で開催される展示会やイベントを視察する。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度・出席率） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
必要に応じてテキストやパンフレットを配布					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1.	始業式	2	16.	学科活動	2
2.	終業式	2	17.	学科活動	2
3.	球技大会	2	18.	学科活動	2
4.	他、学校行事	2	19.	学科活動	2
5.	東京研修	2	20.	学科活動	2
6.	東京研修	2	21.	学科活動	2
7.	東京研修	2	22.	写真技術	2
8.	東京研修	2	23.	写真技術	2
9.	東京研修	2	24.	写真技術	2
10.	東京研修	2	25.	写真技術	2
11.	東京研修	2	26.	学科活動	2
12.	東京研修	2	27.	卒業制作展視察	2
13.	学科活動	2	28.	卒業制作展視察	2
14.	学科活動	2	29.	卒業制作展視察	2
15.	学科活動	2	30.	卒業制作展視察	2
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
建築設計製図 I		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必須	60	2	小沼 勝也 澤本 幸伸
履修要件					
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目であるため必ず履修が必要である ・建築士指定科目である 					
授業の目的・目標					
二級建築士試験製図の基本を学習する前の準備として、線や文字の練習等基本を学習する建築・インテリアの基礎製図(手書き)の知識と表現力を身につけ、また将来の2級建築士製図試験の対策を習得する。					
授業の概要					
製図道具の使い方、製図の基本、線の練習、図形の表現、製図の字の練習、図面の決まり事等木造2階建て住宅の各設計図書の手書きによる作図の基礎学習。住宅におけるプランニングの基礎知識。					
成績評価の方法					
様々な線や文字の練習をしたものを提出させてチェックすると共に、取り組む姿勢や速さも評価する				取り組み姿勢	30%
課題提出(各設計図書A3の提出)				課題	70%
学習意欲(出席率、授業に取り組む姿勢)					
使用テキスト・教材					
教材「建築製図 基本の基本」					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	製図道具の説明・製図の基準		2		
2.	線の種類について・実線での太さの違いの練習		2		
3.	実線・破線・一点鎖線・二点鎖線の練習		2		
4.	様々な線での水平線・垂直線・角度のある線の練習		2		
5.	図形製図(正方形・長方形・円・三角形)		2		
6.	文字の練習		2		
7.	寸法線の練習		2		
8.	W線(壁の断面等)とハッチング		2		
9.	階段・スロープ・屋根勾配の表現		2		
10.	三面図について		2		
11.	木造2階建て住宅の配置図兼1階平面図の作図。課題提出		10		
12.	木造2階建て住宅の2階平面図の作図。課題提出		8		
13.	木造2階建て住宅の立面図の作図。課題提出		4		
14.	木造2階建て住宅の断面図の作図。課題提出		6		
15.	木造2階建て住宅の矩計図の作図。課題提出		12		
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
環境工学/建築環境工学 I		講義科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	2	小沼 勝也
履修要件					
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目であるため必ず履修が必要である ・建築士指定科目である 					
授業の目的・目標					
環境工学の基礎学習					
授業の概要					
光・熱・音等に関する空間との関係についてと様々な材料の特性					
成績評価の方法					
授業の取り組み姿勢と数回の小テストにより評価				取り組み姿勢	30%
				テスト	70%
使用テキスト・教材					
プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	「光環境」照明（視覚・照度と輝度・昼光・人口照明）		2		
2.	色彩		2		
3.	「温熱環境」温度と熱移動		2		
4.	室温と熱負荷		2		
5.	湿度と結露・体感温度		2		
6.	温湿度実験ショールーム見学		2		
7.	〃		2		
8.	太陽と日射		2		
9.	「空気環境」室内空気汚染物質		2		
10.	自然換気・機械換気・換気計画・通風		2		
11.	「音環境」音の性質		2		
12.	室内の音		2		
13.	室内の音響・騒音と振動		2		
14.	「地球環境」温暖化・大気汚染・水質汚濁		2		
15.	環境と建築まとめ		2		
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
環境工学/環境デザイン論			講義科目		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	2	辻 雄貴
履修要件					
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目であるため必ず履修が必要である ・建築士指定科目である 					
授業の目的・目標					
<p>空間デザインにおいて重要となる「自然と空間の関係」を理解し、日本の伝統文化であるいけばなを通して空間表現の考え方を学ぶ。植物という生命を空間に取り入れることで、空間がどのように変化をするのか、体験的に理解する。また、作品制作や発表を通し、自分の感じたことや考えたことを言葉や形で表現する力を養い、デザインやものづくりを通して社会に対して表現する姿勢を身につけることを目的とする。</p>					
授業の概要					
<p>いけばなを題材に、植物と空間の関係について学びながら空間表現の基礎を理解する。様々な植物の中から自分の感性に合うものを選び、「自然の生命力」をテーマに作品制作を行う。竹材などの構造体を用いて植物を空間の中に立ち上げ、形・バランス・空間の変化を考えながら制作を進める。完成した作品は写真撮影や発表を行い、空間表現やコンセプトの伝え方について学ぶ。これらの制作と対話を通して、自然を観察する力、空間を感じ取る力、そしてデザインとして表現する力を育てる。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・制作作品およびコンセプトの完成度 ・学習意欲（出席率、授業に取り組む姿勢や意欲の有無） ・レポート提出 				レポート	40%
				提出物（作品）	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<p>資料（画面投影） 植物材料（いけばな素材） 竹材などの制作材料</p>					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	講座：環境デザインと空間表現の基礎		2		
2.	講座：いけばなの考え方や日本文化と空間の調和性		2		
3.	料亭や庭園の見学、1-3のレポート制作		2		
4.	いけばな体験WS		2		
5.	いけばな体験WS		2		
6.	作品製作①		2		
7.	作品製作②		2		
8.	作品製作③		2		
9.	作品撮影		2		
10.	作品撮影		2		
11.	作品プレゼン準備		2		
12.	作品発表		2		
13.	作品発表		2		
14.	辻+ゲスト講師とのトークショー		2		
15.	辻+ゲスト講師とのトークショー、レポート		2		
履修上の注意事項					
単元ごとのレポート課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。 					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は45分換算			科目コード		
			授業科目名		授業形態
建築一般構造 I			講義演習科目		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	2	清水 利至
履修要件					
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目であるため必ず履修が必要である ・建築士指定科目である 					
授業の目的・目標					
<p>インテリアデザインに繋がる建築物本体の構造についての知識を得る。デザインと建物の安全性について理解する。また、木材の伐採から乾燥、製材を行う一連の流れを学ぶことで、木という素材を扱うに当たり考慮すべきことを知り、樹種や生産方法による特性の違いをデザインの中に活かすことができる力をつける。</p>					
授業の概要					
<p>建築構造の基本と木構造について理解する。建築物にかかる力や構造形式を学習します。木構造の構成部材や接合部の仕組みを知り、それらの名称を覚える。これらについては最終授業で学習した内容に関する筆記テストを行う。また木材に関する授業では木材の特性と樹種による違いを学び、校外授業で木材市場、乾燥工場、製材所を見学する。見学後に現場で学んだことをレポートにまとめる。</p>					
成績評価の方法					
1、レポート（レポートの内容とまとめ方を評価） 2、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢、出席数） 3、筆記テスト（学習内容の理解度を評価）				レポート	40%
				学習意欲	10%
				筆記テスト	50%
使用テキスト・教材					
「図説 やさしい建築一般構造」 今村 仁美、田中 美都					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	建築物の構造形式・分類		2		
2.	地震に対する対策		2		
3.	木材の特徴、種類		4		
4.	木構造の特徴・地盤		2		
5.	木造軸組工法の構成部材(基礎～軸組)		2		
6.	木造軸組工法の構成部材(小屋組・耐力壁)		2		
7.	木造軸組工法の壁量計算		2		
8.	屋根・外壁の構造		2		
9.	間仕切壁・天井・床の構造		2		
10.	開口部・階段の構造		2		
11.	校外授業(木材市場・乾燥工場・製材所)		6		
12.	期末テスト		2		
13.					
14.					
15.					
履修上の注意事項					
毎回テキストを持参すること					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
建築材料		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	60	2	宮沢 千夏子
履修要件					
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目であるため必ず履修が必要である ・建築士指定科目である 					
授業の目的・目標					
建築・インテリア分野を学ぶ基礎段階にある学生を対象に、建築・インテリアを構成する建築材料・設備・エレメントについて、知識と実体験を通して理解を深めることを目的とする。また、業界関連企業を知る。					
授業の概要					
建築・インテリアを構成する建築材料・設備・エレメントについて、実際の製品・素材に触れ、空間の中で確認する体験を重視し、材料や設備が空間の印象・使い勝手・暮らし方にどのような影響を与えるのかを体感的に学ぶ。毎回のレポート作成とファイル制作を通して、見たこと・感じたこと・考えたことを言語化し、自身の学びを蓄積・振り返る。					
成績評価の方法					
最終課題（ファイル制作課題の習熟度や完成度、各単元のレポート提出期限厳守）				最終課題	50%
テスト（材料・素材のまとめテストの実施）				テスト	30%
学習意欲（出席率、授業に取り組む姿勢や意欲の有無）				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
インテリアコーディネーター合格教本(上下巻)、資料・プリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	建築材料とインテリアエレメント概論	2	16.	⑧住宅建材関連メーカー見学	2
2.	①水まわり設備・総合メーカー見学	2	17.	⑧⑧住宅建材関連メーカー見学	2
3.	①水まわり設備・総合メーカー見学	2	18.	⑨住宅展示場見学	2
4.	②インテリア内装材メーカーセミナー	2	19.	⑨住宅展示場見学	2
5.	②インテリア内装材メーカーセミナー	2	20.	⑨住宅展示場見学	2
6.	③照明・電設設備メーカー見学	2	21.	材料横断整理①（床・壁・天井）	2
7.	③照明・電設設備メーカー見学	2	22.	材料横断整理①（床・壁・天井）	2
8.	④タイル・石材 関連メーカー見学	2	23.	材料横断整理②（建具・設備・照明）	2
9.	④タイル・石材 関連メーカー見学	2	24.	材料横断整理②（建具・設備・照明）	2
10.	⑤ウインドウトリートメント関連メーカー見学	2	25.	材料横断整理③（その他）	2
11.	⑤ウインドウトリートメント関連メーカー見学	2	26.	材料横断整理③（その他）	2
12.	⑥家具メーカー見学	2	27.	ファイル制作（整理・差し替え）	2
13.	⑥家具メーカー見学	2	28.	ファイル制作（整理・差し替え）	2
14.	⑦水まわり設備／窓・エクステリア関連メーカー見学	2	29.	講評・共有・まとめ	2
15.	⑦水まわり設備／窓・エクステリア関連メーカー見学	2	30.	講評・共有・まとめ	2
履修上の注意事項					
見学やセミナー後はレポート提出を求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
インテリアコーディネート I		講義科目		インテリア・空間デザイン科	
時間数は45分換算					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	60	4	岩崎 京子
履修要件					
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目であるため必ず履修が必要である ・建築士指定科目である 					
授業の目的・目標					
2年次のインテリアコーディネーター資格取得。試験勉強を通して、建築インテリアの基本知識全般を身につける。実践で仕事に活かすための知識習得。					
授業の概要					
インテリアコーディネーター資格取得に向け、試験対策と共に、インテリアデザイン・建築の基礎知識を身につける。講義から過去問題を使った演習を繰り返し、一次試験合格を目指す。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、期末テスト				平常点	20%
				期末テスト	80%
使用テキスト・教材					
インテリアコーディネーター1次試験合格教本上・下					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	インテリアの意識の芽生えとインテリア空間	2	16.	インテリア計画_住宅の安全性、性能と評価、コスト維持管理	2
2.	インテリア産業の発展とコーディネーターの誕生	2	17.	インテリア計画_住宅の生活様式	2
3.	日本建築の歴史(飛鳥～奈良～鎌倉～室町)	2	18.	インテリア計画_LDKの構成手法	2
4.	日本建築の歴史(室町～安土桃山～江戸～明治)	2	19.	インテリア計画_ユーティリティの構成手法	2
5.	日本建築の歴史(大正～昭和)、近代デザイン	2	20.	インテリア計画_個室、高齢者の居室、サンタリーの構成手法	2
6.	西洋建築・家具の歴史(古代・中世)	2	21.	インテリア計画_リフォーム計画	2
7.	西洋建築・家具の歴史(近世・近代)	2	22.	環境工学_温熱環境について(熱の移動・熱伝導率)	2
8.	近代デザインの成立・アーツアンドクラフツ運動	2	23.	環境工学_温熱環境について(結露のしくみ・換気と通風)	2
9.	北欧が生んだ建築家・家具デザイナー	2	24.	環境工学_音環境	2
10.	ミッドセンチュリーのインテリア	2	25.	環境工学_光環境(採光と日照)	2
11.	インテリア計画_住宅空間の種類と手法	2	26.	家具_椅子の構造	2
12.	インテリア計画_人体・動作寸法、感覚・知覚特性の検討	2	27.	家具_椅子の構造	2
13.	インテリア計画_心理・行動特性、人間工学面の検討	2	28.	家具_家具材料と金物、造作部品	2
14.	インテリア計画_家具・設備の種類と計画・検討	2	29.	期末テスト	2
15.	インテリア計画_空間の配置と規模、寸法の検討	2	30.	期末テスト解答・解説	2
履修上の注意事項					
2年次のインテリアコーディネーターⅡへと続く。单元ごとにテストを来ない、復習を行う。テストの点数によって理解度を判断し、成績に反映させる。					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
家具デザイン		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	1	小沼 勝也
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
建築工事に含まれる造作家具についての知識とその製図法についての学習					
授業の概要					
造作家具の概要（種類・構造・金物等）及び建築図面における造作家具製図					
成績評価の方法					
授業の取り組み姿勢、小テスト、製図課題により評価				取り組み姿勢	20%
				テスト	30%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	造作家具の概要		2		
2.	一般的造作家具の各部名称		2		
3.	造作家具の構造と施工について		2		
4.	構成材料とその特徴		2		
5.	金物等の種類と施工		2		
6.	建築現場での採寸法と注意点		2		
7.	造作家具工場の見学		2		
8.	〃		2		
9.	〃		2		
10.	〃		2		
11.	造作家具製図		2		
12.	課題の製図		2		
13.	〃		2		
14.	〃		2		
15.	〃（提出）		2		
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パース技法 I		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	60	2	宮沢 千夏子
履修要件					
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目であるため必ず履修が必要である ・建築士指定科目である 					
授業の目的・目標					
1消点パースの考え方と描き方を理解し、さまざまな住空間を立体的に表現できるようになることを目指す。また、図面を見て空間を正しくイメージし、パースとして描く力を身につける。					
授業の概要					
① 1消点パースの描き方の理解・習得 ② あらゆる住空間を授業時間内でパースを立ち上げ、着彩まで仕上げ上げていくことを意識し、繰り返す行う。					
成績評価の方法					
最終課題（課題の習熟度や完成度、提出期限厳守）				最終課題	50%
提出物（各単元の完成度、提出期限厳守）				提出物	30%
学習意欲（出席率、授業に取り組む姿勢や意欲の有無）				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じて授業プリントを配布、プロジェクトペーパー、クロッキー帳、色鉛筆、コピックマーカー、コピックマルチライナー、30cm定規、三角スケール					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	パースの基本・概論	2	16.	1消点パース演習⑥・水まわり	2
2.	物の寸法	2	17.	1消点パース演習⑦・階段のある空間	2
3.	ものを描くトレーニング	2	18.	1消点パース演習⑦・階段のある空間	2
4.	ものを描くトレーニング	2	19.	1消点パース演習⑧・勾配天井のある空間	2
5.	1消点パース演習①・空間を描く	2	20.	1消点パース演習⑧・勾配天井のある空間	2
6.	1消点パース演習①・空間を描く	2	21.	1消点パース演習⑨・外観	2
7.	1消点パース演習②・リビング	2	22.	1消点パース演習⑨・外観	2
8.	1消点パース演習②・リビング	2	23.	アイソメ図法①	2
9.	1消点パース演習③・キッチン	2	24.	アイソメ図法①	2
10.	1消点パース演習③・キッチン	2	25.	アイソメ図法②	2
11.	1消点パース演習④・ダイニング	2	26.	アイソメ図法②	2
12.	1消点パース演習④・ダイニング	2	27.	最終課題制作	2
13.	1消点パース演習⑤・玄関	2	28.	最終課題制作	2
14.	1消点パース演習⑤・玄関	2	29.	最終課題制作	2
15.	1消点パース演習⑥・水まわり	2	30.	最終課題制作・提出	2
履修上の注意事項					
各単元ごとパース課題を提出をする。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デザインCAD I		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	60	2	小杉 陽子
履修要件					
<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目であるため必ず履修が必要である ・建築士指定科目である 					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・建築CADのVectorWorksで、図形を書くための技術を習得する。 ・初めてのCADなので、まずは2D図面を書けるようになることを目指す。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・CADを使用方法を基礎から学ぶ。 ・今後の建築設計図面を書いていくため、CADを使って図形等を作図することを学ぶ。 					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業態度(意欲的な学ぶ姿勢があるか) ・CADでの図形を正確に作図できるようになったか。 				出席状況	10%
				授業態度	20%
				到達度	70%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・VectorWorksのテキスト ・建築CAD検定の試験の問題を、進捗度に合わせて到達度を確認するための小テストとする。 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. CADの設定とツールの基本			4		
2. 線と図形を書いてみる			4		
3. 直線を使って・建具(平面)を書いてみる			4		
4. 曲線を使って・家具を書いてみる。			4		
5. 簡単な基準図を書いてみる1			4		
6. 簡単な基準図を書いてみる2			4		
7. 到達度テスト 1			4		
8. 階段を書いてみる 1			4		
9. 階段を書いてみる 2			4		
10. 階段を書いてみる 3			4		
11. 到達度テスト 2			4		
12. 柱・壁・間仕切壁を書いてみる 1			4		
13. 柱・壁・間仕切壁を書いてみる 2			4		
14. 柱・壁・間仕切壁を書いてみる 3			4		
15. 到達度テスト 3			4		
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度	
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
空間デザイン基礎			演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	選択	60	2	岩崎 京子 松尾 憲宏	
履修要件						
・選択科目であるが、必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
1. 空間を観察できる目を育てる。 2. 空間を「発想」し、言語化・ビジュアル化する力を育てる 3. 生活者視点の空間提案ができるようになる 4. 簡易模型を使い、立体的に考えられるようにする デザイナーとなるためのファーストステップとして、そもそもデザインとは何か、デザイナーとはどういう職業なのか。デザイナーとして考えるとはどういうことなのかを学び、ワークを通してデザイン思考を体験し、デザインに必要な思考力や思考する習慣づけを目指す。						
授業の概要						
空間を読み解く力を身につける。またボディスペース実験から人の動作から適切な空間の取り方を把握する。グループワークを取り入れながら、キーワードや素材から空間を発想する技法に取り組む。 小規模な空間の模型製作を行い、立体感覚を養う。 事例や写真を使いながら、デザイン等について考え、簡単なワークを行う。後半ではデザイン思考を使った空間デザインのグループワークを行い、ユーザーの課題をデザイナーとして解決することを体験し、プレゼンテーションを行う。						
成績評価の方法						
授業の取り組み姿勢。発想したものを言語化・ビジュアル化できているかをレポート用紙から読み解き、履修度を評価する。 思考能力の授業なので、デザイナーとしての考え方や進め方が出来たか、考えたことがデザインに結びついているかなどを評価します。 またデザイナーはチームで動くことも多いのでグループワーク内で自分の役割を見つけ、積極的に参加しているか、きちんと提出物が提出できるかも評価対象になります。					学習意欲	40%
					発想・プレゼン	40%
					課題	20%
使用テキスト・教材						
必要に応じてプリント配布。 ふせん、スケッチブック、PC						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	オリエン・空間とは何か。空間デザインの分野紹介		2	16.	オリエンテーション、事例紹介	2
2.	空間を読み解く。自分の生活空間から分析する。		2	17.	デザインについて考える	2
3.	ボディスペース実験。体の動きを観察する。		2	18.	デザイナーについて考える	2
4.	空間発想_キーワードから空間イメージを発想する。		2	19.	デザイン思考の紹介・ターゲット設定	2
5.	空間発想_キーワードから空間イメージを発想する。		2	20.	ターゲット設定・問題定義	2
6.	空間発想_素材から空間イメージを発想する。		2	21.	ターゲット設定・問題定義	2
7.	空間発想_素材から空間イメージを発想する。		2	22.	ターゲット設定・問題定義	2
8.	模型作りの基礎		2	23.	コンセプト設定	2
9.	模型作りの基礎		2	24.	コンセプト設定・アイデアスケッチ	2
10.	模型作りの基礎		2	25.	アイデアスケッチ	2
11.	模型作りの基礎_抽象空間の表現		2	26.	アイデアスケッチ・図面作成	2
12.	模型作りの基礎_抽象空間の表現		2	27.	アイデアスケッチ・図面作成	2
13.	模型作りの基礎_抽象空間の表現		2	28.	アイデアスケッチ・図面作成・プレゼン準備	2
14.	模型作りの基礎_抽象空間の表現		2	29.	最終プレゼン・振り返り	2
15.	模型作りの基礎_発表		2	30.	最終プレゼン・振り返り	2
履修上の注意事項						
模型製作のスチレンボードは学校で支給するが、各自の作りたい空間イメージによって、各自で用意する材料もある。						
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプラン I		講義科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	2	太田 稔子
履修要件					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
①ビジネスマナー検定対策 ②ビジネスマナーの基本を身につける ③社会人意識を学ぶ					
授業の概要					
ビジネスマナー検定対策を通し、ビジネスマナーの基本を身につける。 単なる検定対策ではなく、就職活動の基礎知識をつける。 社会生活に必要な意識を学ぶ。					
成績評価の方法					
主欠席状況を軸に、授業態度や学習意欲を勘案して総合評価する。				平常点	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
講師が独自に作成したワークシート及び就職に関するビジネスマナー等資料					
授業内容・授業計画					
1. 「働く」とは 社会人意識 ビジネスマナー基本 2. 敬語の基本 改まり語 丁寧語 尊敬語 謙譲語 3. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 4. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 5. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 6. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 7. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 8. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 9. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 10. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 11. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 12. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 13. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 14. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等 15. ビジネスマナー検定対策 模擬試験			時間数		時間数
履修上の注意事項					
授業だけの検定合格が目標です。個々の授業への取り組みに期待します。					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
巨匠デザイン学		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	30	1	小林 良行
履修要件					
・選択科目であるが、必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
巨匠たち、個々の作品デザインの映像（DVD）をみて、興味を持ち調べる。 そして、レポートにすることで知識を得ることができる。 巨匠ファイルを作成します					
授業の概要					
個性ある新旧の巨匠たちのデザインをとおして、その時代背景、デザインの成り立ち、製作のプロセスを共に知る。					
成績評価の方法					
レポート(70%)、学習意欲(30%)				レポート	70%
				出席・学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリントを配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	安藤忠雄		2		
2.	ガウディ		2		
3.	マッキントッシュ		2		
4.	リートフェルト		2		
5.	カルダー、or イサム・ノグチ		2		
6.	F・L・ライト		2		
7.	ル・コルビュジェ		2		
8.	ミース・ファン・デル・ローエ		2		
9.	アアルト、or ヤコブセン		2		
10.	倉俣史朗		2		
11.	深澤直人		2		
12.	片山正通		2		
13.	団塚栄喜		2		
14.	藤本壮介		2		
15.	感想/マイベスト3		2		
履修上の注意事項					
レポート（A4）は1枚以上。Wordで作成し印刷したものを提出とみなす。念のためにデータは各自で保存しておくこと。 パソコンによる文章のコピー&ペーストは禁止。画像はコピー&ペースト可、必ず入れてください。 画像を貼り付ける場合は全体の20～30％程度とし文章は70～80％程度とする。					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
色彩学		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	60	2	境 香良里
履修要件					
・選択科目であるが、必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
フラワーデザインに必要な色彩について基礎から学び、今後の様々な実習に生かしていく。また、前期に受験する色彩検定3級に合格するよう、過去問題にも取り組み、検定対策も行っていく。後期では、カラーイメージについても実習を中心に学んでいき、今後の作品制作に生かしていく。					
授業の概要					
文部科学省後援、色彩検定公式3級テキストを中心に、配色用カラーカードも使用しながら授業を進め、3級合格を目指すしていく。また、デザインに必要な不可欠な、色彩の基礎を身につけ、それを応用し、フラワーデザインの作品制作にも実践的に役立つようにしていく。尚、時期をみて、「イエベ・ブルベ」というワードが近年普及しているので、パーソナルカラーについても触れ、診断も行っていく。					
成績評価の方法					
前期検定試験結果・点数 カラーダイヤル他・イメージマップ・レポート等（レポートの完成度、提出期限厳守） 学習意欲（出席率、授業に取り組む姿勢や意欲の有無）				検定試験	50%
				提出物	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
『内閣府認定・公益社団法人 色彩検定協会 文部科学省後援 色彩検定公式テキスト3級編』・カラーカード199b・のり・ハサミ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 授業の進め方や注意事項・自己紹介・カラーセラピー・慣用色名等					2
2. 色の基本となる、カラーダイヤル・色相環・トーン表・色のはたらき					2
3. 色の表示（表色系）					2
4. 光と色					2
5. 色彩心理					2
6. 色彩調和					2
7. 色彩調和					2
8. 配色イメージ					1
9. ファッション					2
10. インテリア・総復習					2
11. 色彩検定過去問題を解く					2
12. 色彩検定過去問題を解く					2
13. 色彩検定過去問題を解く					2
14. 後期・カラーイメージについて1					2
15. 後期・カラーイメージについて2					3
履修上の注意事項					
検定試験の受験と、提出物を期限までに提出することが求められる					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
デザインアプリケーション I			演習科目		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	120	4	本野 智美
履修要件					
・選択科目であるが、必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
デザインの現場で必須であるデザイン系アプリであるIllustrator、Photoshopを学びながら、インテリア業界におけるグラフィックススキルの関連と重要性を学ぶ。					
授業の概要					
ツール等の基礎知識から基本操作の習得を積み重ね、簡単な図形制作から資料作成など、PCでデザインできる力を身につけていく。カテゴリー終了ごとに終了課題にチャレンジし、グラフィックデザインの基礎技術を身につける。					
成績評価の方法					
1. 学習意欲／取り組みの姿勢と真剣度 2. 理解度／基本操作の理解 3. 課題提出／提出期限の厳守とデザインクオリティを評価対象とする				学習意欲	20%
				理解度	30%
				課題提出	50%
使用テキスト・教材					
ノートパソコン毎回持参・「Illustratorしっかり入門」「Photoshopしっかり入門」教科書配布・必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. 2. Illustrator基礎	8	31. 32. "			
3. 4. <イラストレーターの基本操作>		33. 34. パスの描画と編集習得			4
5. 6. 基本図形の描き方と変形操作習得	8	35. 36. 【Illustrator基礎課題】『ペンツール』			12
7. 8. "		37. 38. "			
9. 10. オブジェクトの編集とレイヤーの基本習得	4	39. 40. "			
11. 12. 色とグラデーションの設定習得	4	41. 42. 【Illustrator応用課題】『名刺デザイン』			12
13. 14. 変形・合成・特殊効果習得	8	43. 44. ・発想～アイデア出し～素材集め			
15. 16. "		45. 46. ・デザイン制作～ブラッシュアップ～提出			
17. 18. 【Illustrator基礎課題】『図形課題』	12	47. 48. Photoshop基礎			8
19. 20. ・デザイン制作～提出		49. 50. 色調補正・選択範囲・画像修正			
21. 22. "		51. 52. 【Photoshop基礎課題】『合成課題』			4
23. 24. 画像の配置と編集	4	53. 54. 【総合課題】『アプリとピクトデザイン』			12
25. 26. 文字操作と段落設定習得	4	55. 56. ・発想～アイデア出し～素材集め			
27. 28. 【Illustrator基礎課題】『文字課題』	12	57. 58. ・デザイン制作～ブラッシュアップ～提出			
29. 30. ・デザイン制作～提出		59. 60. クラス内プレゼンテーション～提出			4
履修上の注意事項					
単元内容に応じた課題を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デッサン		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	60	2	日下文
履修要件					
・選択科目であるが、必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
単なる絵の練習を超えて、空間のスケール感や人間中心の設計(エゴノミクス)を体感させる上で、頭の中の立体情報を即座にアウトプットする能力と、その空間に人がいる状態を正確にイメージする力をデッサンと人体、クロッキーにおいて学びます。					
授業の概要					
①3次元の物体を2次元に落とし込む作業を通じ、パースの空間把握力の向上②人体、クロッキーを通じて家具や建具と人体のサイズ感を身体感覚として身につける、スケール感の習得③定規を使わず、空間イメージを素早くスケッチできるプレゼン力の強化					
成績評価の方法					
実技(課題の習熟度と完成度、提出期限の厳守)60%				課題	60%
学習意欲(授業に取り組む姿勢や、意欲の有無)40%				提出物	30%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
スケッチブックF6、クロッキー帳、鉛筆、練り消し、巻尺など					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	前半	デッサン			2
2.	第1～3回	幾何学形態とパース			2
3.		立体と円柱を用いてアイレベルと消失店の感覚を学ぶ			2
4.	第4～6回	マテリアルデッサン			2
5.		木材、金属、ガラス布などのインテリアで対応する素材をセットで描く。光の反射や10日の表現を習得			2
6.		木材、金属、ガラス布などのインテリアで対応する素材をセットで描く。光の反射や10日の表現を習得			2
7.	中半/	人体クロッキー(動線とエゴノミクス)			2
8.	第7～9回	動画から人体の骨格構造を学ぶ			2
9.		「静止した人」ではなく「家具を使う人」が対象			2
10.	第10～11回	空間の中の人体			2
11.		空間(壁や床)と人体の距離を描く			2
12.	第12～14回	パースの中の人物			2
13.		自分で設計したインテリアパースの中に適切なサイズと動きの人物を描き加える			2
14.		自分で設計したインテリアパースの中に適切なサイズと動きの人物を描き加える			2
15.	第15回最終	課題 質感表現と人間描写を含めたパースの完成			2
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
平面構成		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	60	2	安富 万里子
履修要件					
・選択科目であるが、必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
空間デザインに応用することを見越して、平面を起点とした発想・表現力を磨く。また、言葉や概念を図案化・抽象化することにも挑戦し、画材や素材の選択をしながら個々の作品制作を行う。課題ごとにプレゼンを実施し、作品コンセプトを伝えるスキルも身に付けていく。					
授業の概要					
様々な創作活動に共通する基本的な平面表現と、発想法を体得するため課題制作をする。そこでは日頃目にするテキスタイルやインテリア・エクステリア材料、建造物に展開することを想像し、視野を広げるよう進めていく。アナログ表現(手作業)を基本とし、画材や用具類の活用方法も学ぶ。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲および出席状況、取組姿勢等を勘案して評価する。 ・課題の内容・完成度・提出状況をもとに評価する 				学習意欲	30%
				課題	70%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ○ クロッキー帳・ケントブロック・定規類 ○ その都度各自が使用する画材・素材：アクリルガッシュ・色鉛筆など 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	授業概要・平面構成の基礎		2		
2.	課題①:定規を使用した形態表現		14		
3.	プレゼンテーション・講評会		2		
4.	連続する形状のリサーチ・画材研究		4		
5.	課題②:パターンデザイン		16		
6.	プレゼンテーション・講評会		2		
7.	質感・サーフェイスのリサーチ		4		
8.	課題③:サーフェスデザイン		14		
9.	プレゼンテーション・講評会		2		
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
産学連携 I		演習科目		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	30	1	宮沢 千夏子
履修要件					
・選択科目であるが、必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
静岡県インテリアコーディネーター協会（Sic）との産学連携授業。最終回では静岡県インテリアコーディネーター協会の会員の皆様へプレゼンテーションを行い、外部講評・審査を受けることで、職業観を育て、実務レベルで求められる表現力・提案力の基礎を身につけることを目的とする。 本課題は1年次の学習成果を総合的に評価する進級判定課題として位置付ける。					
授業の概要					
マンションの一室を題材としたインテリアコーディネート課題に取り組む。 住まい手（ペルソナ）設定からコンセプト立案、平面計画、マテリアル選定、パース制作、プレゼンテーションに至るまで、インテリアコーディネートの基本的な一連のプロセスを実践的に学ぶ。					
成績評価の方法					
最終課題（課題の習熟度や完成度、提出期限厳守）				最終課題	50%
提出物（ワークシート完成度、提出期限厳守）				提出物	30%
学習意欲（出席率、授業に取り組む姿勢や意欲の有無）				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
プリント配布、インテリアコーディネーター合格教本（上下巻）					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	オリエンテーション／課題説明				2
2.	インテリアコーディネート基礎(動線・家具寸法)				2
3.	住まい手(ペルソナ)設定				2
4.	平面計画①(ゾーニング)				2
5.	平面計画②(家具配置)				2
6.	コンセプト立案				2
7.	マテリアル計画				2
8.	中間講評・チェック				2
9.	パース表現基礎				2
10.	パース制作①				2
11.	パース制作②				2
12.	プレゼン構成・練習				2
13.	最終制作・提出準備				2
14.	産学連携プレゼンテーション①				2
15.	産学連携プレゼンテーション②・外部審査・講評・振り返り				2
履修上の注意事項					
産学連携プレゼンテーション時には指定した成果物の提出と発表を確実に行う。 本課題は1年次の学習成果を総合的に評価する進級判定課題として位置付ける。					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					